

Whose ～? と Which ～? の導入『だれの? どっち?—落とし物ボックス』
授業案（昔話の落とし物クイズと、落とし物係の聞き合いで使う）

Whose ～? と Which ～? で出る誤りは3つにまとまります。答えの 's が落ちる (Whose cap is this? – It's Kenta.)、同じ音の Who's と書く (Who's cap is this?)、候補を見せて聞くのに What を使う (What umbrella is yours, the red one or the blue one?)。どれも、Whose・Which のすぐ後ろに名詞が来て「だれの～」 「どっちの～」をひとまとまりで聞いていることが見えていない誤りです。この授業案は、昔話の落とし物の持ち主を当てるクイズで Whose ～ is this? と It's ～'s. を聞かせ、先生のかばんで Which ～? に出会わせてから、落とし物係の聞き合いで2つを使い分けます。

この教材で解決できる悩み

- Whose cap is this? に It's Kenta. と答え、's が落ちる
- Whose を、同じ音の Who's と書く
- 候補を見せて聞くのに What umbrella ～? と What を使う

教材の概要

項目	内容
対象	中学1年 (NEW HORIZON I Unit 6／NEW CROWN I Lesson 5・6／ONE WORLD I Lesson 6／BLUE SKY I Unit 8 ほか)
文法項目	Whose ～? – It's ～'s. ・ Which ～? – The red one. (疑問詞＋名詞)
形式	授業案A4・3ページ
所要時間	50分×1コマ
準備物	印刷のみ (投影版はプロジェクタ) ・ 落とし物の絵カード6枚 (下の表から黒板に描いてもよい)

授業の流れ (50分)

導入：だれの?—昔話の落とし物ボックス (15分)

「落とし物ボックスが届きました。中身は昔話の人の落とし物」と告げ、4つの札 (投影版なら画面のいちばん下) を並べて、ヒントを1文ずつ聞かせ、3文目のあとで札に手を挙げさせます。問いはいつも Whose ～ is this? です。

1. It's a very small shoe.
2. The owner goes to a party at a castle.
3. It's a glass shoe. The owner runs home at 12 o'clock.

札はシンデレラ・白雪姫・赤ずきん・桃太郎。2文目で白雪姫にも手が挙がり、3文目のガラスの靴で決まります (It's Cinderella's.)。以降はきびだんごの袋 (The owner's friends are a dog, a monkey and a bird.) ・玉手箱 (Don't open it! You get old.) ・赤ずきんのかご (The owner meets a wolf in the forest.) と進みます。

5問目だけ問いが変わります。Which bag is mine? に、My bag is not red./not white./not black. It's the color of the sky. と続け、答えは The blue one.。6問目は先生の傘で、答えは It's mine!

正解のたびに Is it Snow White's shoe? のように1つ聞き、No, it isn't. It's Cinderella's. と 's まで言わせます。板書は2列＝左に問い (Whose shoe is this?)、右に答え (It's Cinderella's.) です。

気づき：だれの～・どっちの～ (8分)

左の列から Whose shoe is this? と Which bag is mine? を並べます。「Whose と Which のすぐ後ろは？」—shoe・bag。名詞がついて「だれのくつ」「どっちのかばん」をひとまとまりで聞いている、が出るまで待ちます。

次に右の列を指さし、「だれの、と聞かれたら？」—名前に 's、自分なら mine。It's Kenta. を板書して「どこがおかしい?」。最後に Who's を書いて「音は同じ。でも Who's は Who is」と分け、Whose のすぐ後ろには名詞が来ることを確かめます。

展開：落とし物係 (17分)

- 1. 役を決める (2分)：A は落とし物係で、下の表の絵カード6枚を持ちます。B は「なくした人のメモ」 (3人分) を持ちます。
- 2. 聞き合い (10分)：A はカードを相手に見せずに持ち、Whose umbrella is this? と聞きます。B は Which umbrella, the red one or the blue one? と聞き返し、A が The red one. と答えたら、メモを見て It's Ms. Green's. か Sorry, I don't know.。A は持ち主の名前をカードの下に書きます。3分で交代し、2回目は表の2で同じことを。
- 3. 答え合わせ (5分)：全体で Whose cap is this? と聞き、ペアの答えを確かめます。

回	落とし物係のカード (A)	なくした人のメモ (B)
1	かさ (赤・青) ・ぼうし (黒・白) ・水とう (大・小)	Ms. Green＝赤いかさ／Kenta＝黒いぼうし／Ms. Ito＝小さい水とう
2	同じ6枚	Mr. Sato＝青いかさ／Yuki＝白いぼうし／Mr. Brown＝大きい水とう

机間で It's Ms. Green. が聞こえても止めず、Ms. Green's? と 's だけ返して言い直しを待ちます。多い誤りは出口の前に1回だけ全体で。

出口：落とし物のお知らせ3文 (6分)

教室の英語の掲示板上に貼るお知らせを、1人3文で書きます (Whose cap is this? It's black. Please come to the teachers' room.)。色ちがいが2つある物なら、2文目を Which one is yours, the red one or the blue one? にしてよい。2人に読み上げてもらいます。見るのは3つ—Whose のつづり (Who's ではない)、Whose・Which のすぐ後ろの名詞、答えの 's。

まとめ (4分)

Whose＋名詞＝だれの～、Which＋名詞＝どっちの～ を板書に並べ、「知りたいことの語＋名詞」でまとめて終わります。

5問目と6問目は先生の本当のかばんと傘に差し替えます。6問目の3文目を The owner is in this room now! にすると、It's mine! で教室が笑います。

クラスの生徒の持ち物や落とし物は使いません（持ち主は架空の人と絵カード）。

定着・テストへの接続

Whose ～? と Which ～? は、定期テストでは対話の空所に疑問詞を選ぶ問題と、下線部（Kenta's・the red one）をたずねる疑問文を作る問題で出ます。出口の3文は、物を説明して持ち主に呼びかける短い英作文の型です。

疑問詞の教え方の全体は文法の教え方ガイド「疑問詞」へ。同じ中1の秋の導入では、三単現の『この人だれ？ ヒミツの紹介クイズ』と、疑問文・否定文の『プレゼント作戦会議』があります。

投影版パワーポイント（Premium）

導入15分のクイズをそのまま映せるパワーポイントです（下に4つの札・ヒントが1文ずつ増える・5問目は Which、6問目は先生の傘・話者ノートつき）。Premiumのファイルです。

